

名古屋工業大学の教育理念・目標

第二部

本学では、「ものづくり」「ひとづくり」「未来づくり」を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成することを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

この教育理念に従って卒業時に次の専門知識や能力を身に付けることを目標に掲げております。

- ①現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養
- ②歴史、文化、社会への理解と技術的観点から考察する能力と技術を新しい生活につなぐ強い使命感、責任感、高い倫理観
- ③国内外の人々と対話をできるコミュニケーション力と論理的思考力
- ④基幹となる専門分野の基盤的な知識・技術と新たな知識・技術を習得する能力

カリキュラム区分

第二部

	区 分	考 え 方
共通科目	① 理系基礎科目	工学の基礎としての自然科学、情報関連技術を教育するカテゴリーであり、各学科で必要とする授業科目を履修するものとする。
	②ものづくり・経営基礎科目	技術者として不可欠な倫理観を養い、経営感覚・デザイン感覚を育成し、知的財産保護や起業のために必要な基礎的科目などを教育するカテゴリーである。
	③リベラルアーツ	専門分野以外の幅広い知識、能力を身に付けるために必要なカテゴリーである。
	④科学技術英語	国際人の養成、技術専門英語の教育を中心に、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を涵養する。
	⑤人間文化	技術を考える上で、人間と社会を考えることは重要な要素であり、人間に関連する諸科学と人間が形作る社会に関連する諸科学について、考え方、アプローチの仕方などについて学ぶ能力を涵養する。
	⑥健康運動科学	フィジカル、メンタル両面での社会への適応能力を涵養する。
専門教育科目	⑦導入科目	初学者が各専門分野へ導入され、その概要を理解できるような、専門の基礎となる1年次に学科共通として開講する専門科目
	⑧基本科目	その分野で高い理解度で修得し、必ず学ばねばならない骨格となる専門科目
	⑨準基本科目	基本科目に準ずるもので、展開科目への橋渡しとなる専門科目
	⑩展開科目	専門分野をより深く、あるいは応用力を養い、目標やものづくりに直結することを目指す専門科目
	⑪実験・演習科目	専門科目の理論的な内容を裏付け理解するための具体的な体験や実験・実習を通じて理解する科目
	⑫卒業研究	学部教育の集大成として、自ら課題を設定して、データや情報を得て、分析し考察してまとめ上げる科目(設計を課す場合もある。)。専門領域に関して、何らかのクリエイティブな成果を出すか、あるいは問題点を指摘することが目標である。また、「基礎的な知識力」「論理的思考力」「問題解決力」「自己管理能力」「コミュニケーション力」「総合的な表現力」等の評価軸により、卒業研究プロセスの達成度を評価する。